

本校 SSH では、持続可能な社会を担う、問題解決能力を持つ生徒を育成するため、「科学的探究力・発展的対話力・論理的思考力」の3つの力の育成に力を入れています。今回の海外研修では、現地の大学や研究施設、企業などを訪問し、研究者や学生との交流を通して、幅広い対話体験を積むことによって3つの力を育成し、世界で活躍しようとする志を立てる糧とすることを目的に実施されました。

## 1. 実施期間

平成29年3月5日（日）～3月10日（金）（4泊6日）

## 2. 研修先

### (1) JTB シンガポール支店

- ①日本に留学経験のある方との交流
- ②支店マネージャーさんによる講話（グローバル人材に求められる力）
- ③支店の方に翌日の課題発表プレゼンを見てもらってのアドバイスをいただきました。



日本に留学経験のある方との交流



発表練習（圧電素子）



マネージャーさんからはグローバル人材と国際化した人材の違いについて教えていただきました。留学経験のある社員さんとの交流では、一人一人の夢を自己紹介で聞き、夢をあきらめずモチベーションを高く保ち続けてほしいと伝えられました。生徒は皆積極的に交流を図っていました。発表練習ではまだまだ練習が

不十分でしたが、それでも現地のスタッフさんに一生懸命伝えようと思いました。その気持ちが伝わり、本研修の添乗員さん、現地の JTB 社員さんから「みなさん積極的で考えもしっかりしていて立派ですね」とお褒めの言葉をいただきました。

## (2) 南洋工科大学



現地の教授からアドバイス



現地学生にルービクキューブの実演

## (3) 市内観光



マーライオン像の前にて

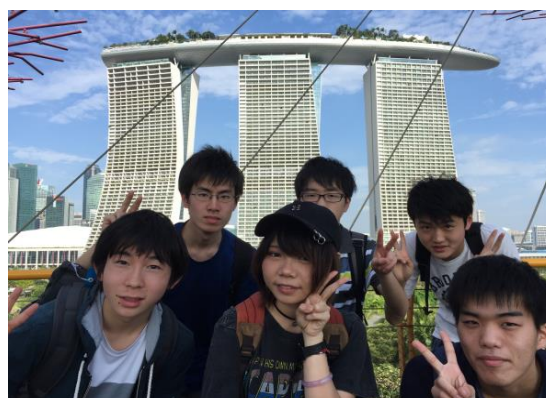


## (4) B & S プログラム

4~5人の班に現地学生が一人ついでの自主研修でした。



セントーサ島水族館前にて



マリーナベイサンズ前で留学生を囲んで

## (5) ジョホールバル観光



ジョホールバル州の王宮前にて



マレー文化村にて

### 生徒の感想

今回の研修を通して、英語でのポスターセッションなど貴重な体験ができました。例えば、B&Sプログラムでは現地での自主活動で自分たちが今まで身につけた英語力を確かめることができました。また、グローバルに働く方々の講演を聴き、今後の自分たちに必要な能力について深く考えることができました。しかし、その中で今の自分たちの課題も見つけることができました。それは自分たちのコミュニケーション力です。海外の方々は日本人と違い、相手との交渉力や考えの表現力など言語能力以外でのコミュニケーション力がとても高いと感じました。この言語能力以外でのコミュニケーション力が今の自分たちが身につけなければならない力だと感じました。またそれらを通して積極性のなさを痛感しました。そのため、普段から自分たちに必要な能力を向上させる活動をしていきたいと感じました。また、英語をコミュニケーションのツールとして使いこなせるように学習していきたいです。